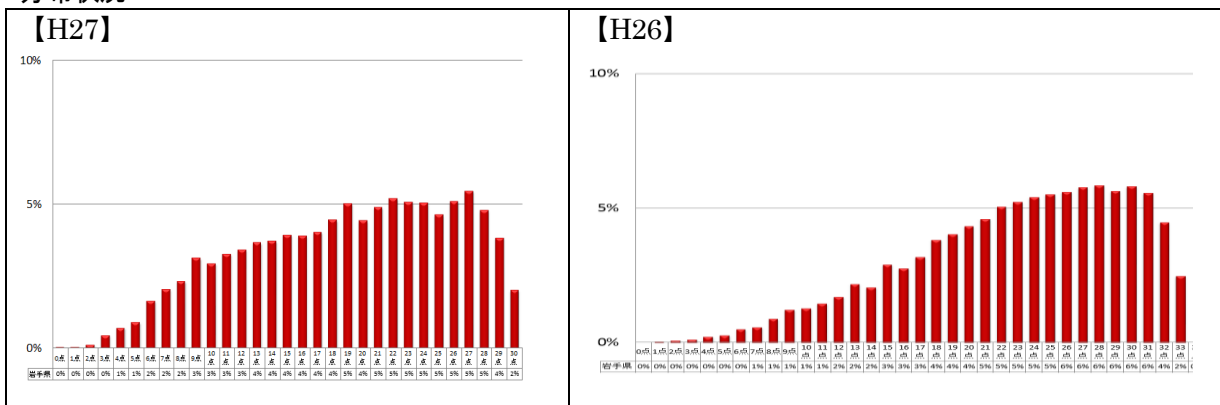


# 授業改善の手引 中学校第 1 学年英語

## 1 調査結果

### (1) 分布状況



- 問題数は昨年度より 3 問少ない 30 問。正答数の最頻値は 27 問、平均正答数は 19 問です。昨年度の分布と比較して山が若干低くなり、山の左側が多少なだらかになりました。正答数 17 問以下の層が増えています。  
(正答数の最頻値：該当する生徒数の最も多い正答数)

### (2) 1 年生 Can-Do リストの正答率

領域	1 年生到達目標 (CAN DO LIST)		対応する問題番号	平均正答率 (H26) (H27)	
理解する力	聞くこと	① 日常生活の身近な単語を正しく聞き取ることができる。	—	97.8	—
		② 英語のあいさつや簡単な Classroom English など、英語の基本的な慣用表現を、理解することができる。	1 (1) (2) (3)	71.1	77.2
		③ 簡単な質問や支持、依頼や許可などを聞き、その場面や状況、話し手の意向を理解することができる。	—	—	—
		④ 自然な口調で話される短い英語を聞きその内容を正しく理解することができる。	2 (1) (2) (3) 3 (1) (2)	79.9	89.4
	読むこと	① 日常生活の身近な単語や簡単な文を理解することができる。	8 (1)	87.7	72.8
		② 身近にある簡単な掲示や標識等を理解することができる。	6	—	95.1
		③ メモやタイトルなどから必要な情報を読み取ることができる。	9	88.9	60.2
		④ まとまった内容の英文を読んで、必要な情報を読み取ることができる。	7、8 (2) (3)	76.3	69.7
表現する力	書くこと	① 日常生活の身近な単語を書くことができる。	4 (1) (2) (3) (4)	61.4	53.5
		② 語と語の区切りに注意しながら、英語の正しい語順で書くことができる。	10 (1) (2) 12 (1) (2) (3) 13 (1)	53.7	43.0
		③ 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりに注意して、簡単な英文で書くことができる。	13 (2)	44.9	45.4
文字・語彙			5	76.8	63.4
文法事項			11 (1) (2) (3) (4)	56.2	49.2

### (3) 結果概要

課題をより明確にするために、調査時期を踏まえ、昨年度よりも英文の分量を増やし、授業で行われている言語活動を想定した問題を出題しています。

- 大問 13 のまとまった英文を書く問題では、昨年度と比較して無答率が 19% から 13.5% に下がりました。授業の言語活動に「書く」活動がしっかりと位置付けられていることの成果ととらえます。
- △ 単語を聞き取り書く問題では、運用頻度の高い動詞の正答率が高く、言語活動と絡めながらの語彙指導が行われていることが伺えます。その一方で、品詞による定着の偏り（形容詞など）が見られました。
- 誤答傾向の分析から、授業中の英語使用がインプットに偏っている、言語活動でコミュニケーション場面や言語の働きを意識させる手立てが不足しているということが考えられます。



## 2 指導のポイント

各校で作成したCAN-DOリストの活用を図るとともに、その内容を生徒と共有すること

- 各学期や単元の到達目標をあらかじめ生徒に示して指導すること(CAN-DOリストをもとに)
- 言語活動に必要な指導内容を洗い出し、指導計画に位置付け、指導すること
- CAN-DO リストの達成状況を把握し、指導改善に活かすこと



**CAN-DOリストの達成状況を適切に把握するために、単元末、学期末、学年末の「評価問題」を工夫する。**

**コミュニケーションを支える文法として、言語活動と効果的に関連付けて指導しましょう。**

### ア 問題の概要

12(2) ALTのクリス先生が作った「折り紙 (origami)」を見て、クリス先生をほめる場面。[正答率11.5%]

(問題) 次のようなとき、英語でどのように言いますか。  
吹き出しの内容について、英文を書く決まりを守って3語以上の英語で書きなさい。



折り紙上手ですね。

### イ 誤答分析

- (ア) 知識として知っている、あるいは、授業で習ったが使える段階まで定着していない傾向があると考えられます。[ 誤答例 : be good at origami. / You can origami well. ]
- (イ) 具体的な場面や状況に応じて、適切な表現を自ら考えて使用するという経験が不足していると思われる。[ 誤答例 : You are origami (well). / He is origami well. ]

### ウ 指導上の留意点

- (ア) 【語彙や文法の使用場面】文の形や意味を知識として与えるだけでなく、生徒が「こんな場面・こんなときに使う文なんだ」と気付けるように、使用場面を意識した指導が必要です。
- (イ) 【提出させた成果物や課題の活用／生徒が自信をもってパフォーマンスできる事前指導】ワークシート、問題集、G-upシート、ノート等書いている生徒の英文について、教師による点検が、定期テスト等、評価にかかわる機会の後にだけ設定していませんか。それ以前に間違いを指摘または生徒が気付ける機会を設けましょう。生徒が単元テストや定期テスト等に向けて自信をもって臨めることが大切です。
- (ウ) 【評価問題のねらい】評価問題が知識を問う形式だけのものから、コミュニケーションの場面での言語使用を意識した出題を工夫しましょう。

### エ 改善の視点

【評価問題を見直す】文法等のテストにおいて、このような形式だけの出題になっていませんか。

(例1) 次の英文の空欄に適切な語を入れなさい。

あなたは折り紙が得意ですね。 You are ( ) ( ) origami.

(例2) 日本語に合うように( )内の語句を並べ替えなさい。

あなたは寿司を食べますか。 ( you / do / sushi / eat )?

(例3) 次の日本語を英語にしなさい。

この本は子供たちにとっても人気があります。( )

以上の3例は、文法の形式と意味を生徒が理解し記憶しているかを見る問題としてはよいですが、コミュニケーションの場面での言語使用を見る問題としては工夫が必要です。このようなタイプの出題だけでは、文法知識を活用して場面や状況に合った適切な表現を自ら考えて使用するという姿勢が育ちにくくなります。



【評価問題の工夫】 評価問題を作成する際に次のような視点を取り入れてみましょう。

(ア) 場面や文脈を示す ( 12, 13 などの出題方法の他に )

(例4) 次のような場面で使う表現として最も適切なものを1つ選びなさい。

(1) 友だちに「ロビンはよくコンピュータを使っているよ」と教えたいとき。

ア Robin is using a computer.      イ Robin often uses a computer.

(2) 今朝食べたものを友だちに説明するとき。

ア I have rice and *natto*.      イ I had rice and *natto*.

(イ) 会話文を活用する ( 10, 11 などの出題方法の他に )

(例5) 中学生のコウジ (Koji) と日本に来たばかりのカナダ人の留学生マイク (Mike) の会話です。\_\_\_\_\_に必要な英語を書き、会話が成り立つようにしなさい。その際、( )内の語を適切な形で用いること。

< 昼休みに校庭で >

Mike: Do you play soccer?

Koji: No. \_\_\_\_\_ it. But I like tennis.  
(like)

(ウ) イラストを活用する ( 7, 12 などの出題方法の他に )

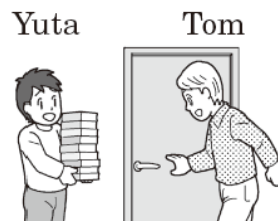
(例6) 次の場面に合った英文になるように、それぞれ ( ) に入る適切な英文1文を3語以上で書きなさい。

< ドアの前で >

Yuta: ( )

Tom: Yes, of course.

Yuta: Thank you.



### 【指導改善の具体例】

#### (1) 既習事項と新出事項を選んで使う活動

教科書のパートごとに配列されている新出文法事項のみでたくさんの文を話す(書く)活動から、場面を考えた既習の英語表現も用いながら複数の文を話す(書く)活動の機会を作る。

① 今までに習った教科書本文のピクチャーカードを見ながら、生徒が2人1組となって絵の内容を説明する活動

② 本当のコミュニケーション場面を与える Small Talk (英語でする簡単なおしゃべり)

(例) 教師が身近な話題について英語で話した後に、“How about you?”と生徒に尋ねる。

教科書本文から“How about you?”と生徒に尋ねる部分はないかな」と探し、生徒とやりとりをする。

#### (2) 対話文の前後に1文(またはプラスα)を加える活動

教科書の Basic Dialog や本文等で、その場面や状況を考え、文脈がある中で前後に1文以上加える活動

A: Did you study English last night?  
B: Yes, I did.



A: We have an English test today.  
Did you study English last night?  
B: Yes, I did.  
I love English, so I want a good score.